

講義名称	家庭支援論	担当教員名	小菅 ゆみ
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の対象の理解 (UC) 選択必修	単 位	2
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	CMUC2118

授業のキーワード	家族システム (力・境界・サブシステム) 多様性 課題 支援
授業の概要	時代の中で変化する家庭の在り方やそれぞれの家庭が持つ個別性など、家庭で発生してくる課題等について学びを深めます。また、冒頭DVD「うまれる」を鑑賞し、それぞれの家族の”決断”について考えていきます。
期待される学習成果 (目標)	保育者として「家族」「家庭」を俯瞰する力をつけます。それぞれの家庭に必要な支援が何であるかを見極め、支援の仕方を考える力を身につけます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	家庭とは、家族とは?	一つではない家族の形を、歴史を振り返りながら学んでいきます。
2	家族をシステムで理解する	家族療法の考え方をもとに家族を理解します。以降毎時冒頭家族理解のためのミニワークを実施。
3	現代の家庭における人間関係	家庭内のコミュニケーションについて考えます。
4	家庭支援はなぜ必要か①	親であること、親にとっての子育てとはといった観点から家庭支援の必要性を考えます。
5	家庭支援はなぜ必要か②	育児ストレスや育児不安の観点から考えます。
6	ゲストスピーカー (ある母親の話)	発達障害のある子どもの育児体験をひとりの母親から語っていただきます。
7	支援を必要とする家族・子ども①	ひとり親家庭と子どもの貧困について理解を深めます。
8	支援を必要とする家族・子ども②	ステップファミリーについて学び、支援の必要性を考えます。
9	支援を必要とする家族・子ども③	障害のある子どもの家族、障害のある保護者の子育てについて考えます。
10	DVD鑑賞「ちづる」	障害のある妹を持つ兄が作製した映画を鑑賞し、家族に障害者がいるということについて考えます。
11	支援を必要とする家族・子ども④	『気づく かかわる つなげる』をもとに見守りを必要とする家庭と関係機関について考えます。
12	支援を必要とする家族・子ども⑤	保育者と関連のある関係機関との連携について考えます。
13	支援を必要とする家族・子ども⑥	「気になる子」とはどのような子か、その対応はどのようなものかを考えます。
14	予期せぬ妊娠への予防と対応について	保育者になるものとして、将来親になるものとして知っておくべき妊娠について学びます。
15	総まとめ	これまでの講義をふりかえり、試験に備えます。

定期試験	全講義を通した基礎知識を問う試験を行います。
授業時間外学習	教科書や初回で配布する資料によく目を通しておきましょう。
評価方法	授業態度・貢献度60% 定期試験40%
使用する教科書 (必ず購入してください)	草野いづみ編著『みんなで考える 家族・家庭支援論』 同文書院 『気づく かかわる つなげる』 全国社会福祉協議会
参考文献	